

講義名	ストラテジック・マネジメント			授業形態	
担当教員	瀧本 隆弘 / 青木 良三	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
			ナンバリング・コード	STG381	

主題と概要

- ・本講義のストラテジック・マネジメントは、日本語では戦略経営と訳されます。戦略的な経営を実践するために何をしたら良いかというのが本講義のテーマです。
- ・戦略的な経営を行い、良い成果を上げるには、企業を巡る環境をしっかりと分析した上で経営戦略を策定し、その戦略を遂行できる柔軟で活気に富んだ組織を作り上げておく必要があります。本講義は、経営戦略論と経営組織論の応用編に当たります。
- ・本講義は、戦略経営の面で成果を上げた企業を事例として採り上げ、紹介するものです。
- ・ひとつの事例に関して経営戦略面を青木が、経営組織面を瀧本が担当します。

到達目標

- ・学生は、本講義で提供される知識を習得することによって、企業行動を経営戦略面と経営組織面から評価でき、レポート等にとまるところができるようになります。
- ・学生は、本講義を通じて、企業が抱える経営課題を明確にできます。
- ・学生は、本講義を通じて経営課題を特定し、改善策を提案できます。

提出課題

- ・「中間レポート」、「期末レポート」として、後期中にレポート提出を2回求めます。
- ・授業の理解度を確かめるための課題を予定しています。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・フィードバックは、キャンパスクロスや電子メールでのやり取りになります。

評価の基準

- ・中間レポートと期末レポートの得点合計により成績評価します。
中間レポートは4.0点満点、期末レポートは6.0点満点で合計10.0点満点になります。
レポート提出は2回になりますが、2回とも提出しないと単位の取得が大変難しくなります。
- ・中間レポートは11月初旬に告知 11月末頃締め切りの予定
- ・期末レポートは12月中旬に告知 1月20日頃締め切りの予定
- ・成績評価方法を変更する場合は、すみやかに連絡します。

履修にあたっての注意・助言他

- ・レポート提出や講義資料のダウンロードはキャンパスクロスを通じて行なってください。
- ・私語等によって他の受講生に迷惑をかける学生には退出を命じます。その指示に従わない場合は、減点します。

教科書

・テキストは使用しない。

参考図書

その他

- ・授業で使うプリントをキャンパスクロスからダウンロードできるようにします。必ず資料をダウンロードして予習の上、授業に出席するようにしてください。

授業計画

1. ストラテジック・マネジメントについて（戦略と組織の関係）
2. 多角化戦略と事業部制組織
3. 多角化戦略と事業部制組織
松下電器産業（担バナンニク）の成長戦略
4. リストラとクロスファンクショナルチーム
日立自動車の経営危機とリストラ
5. リストラとクロスファンクショナルチーム
松下電器産業の事業部制組織導入
6. 戦略としての環境経営と社会貢献を目指す組織
経典り組織の経営危機とクロスファンクショナルチーム
7. 戦略としての環境経営と社会貢献を目指す組織
パナソニックの競争戦略と環境戦略
8. 戦略の遂行と人に優しい組織
サウスウエスト航空のコスト・リーダーシップ戦略
9. 戦略の遂行と人に優しい組織
サウスウエスト航空のコスト・リーダーシップ戦略
10. グローバル化を軸とした企業成長
ユニクロの世界的市場進出戦略
11. グローバル化を軸とした企業成長
グローバル化を目指す組織戦略と独創的な経営理念
12. 大手流通企業の戦略と組織
戦略的な視点から見たセブン&アイホールディングスのグループ経営
13. 大手流通企業の戦略と組織
セブン&アイホールディングス 新しい社会的価値の創造を推進する組織
14. ネット時代の戦略と組織
楽天 ポイントを主軸としたグループ経営の発展
15. ネット時代の戦略と組織
楽天

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・教科書がないので予習しづらいと思いますが、シラバスに書いた企業を採り上げますので、それら企業に関する新聞や雑誌の記事には目を通すようにしてください。
- ・復習は、ダウンロードした資料を読んで、経営戦略論や経営組織論の用語を中心に意味を理解し、説明できるようにしてください。
- ・予習に2時間、復習に2時間を目安にしてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・この講義では、様々な業界における企業経営の仕組みや組織行動の現状分析を行い、経営理論に基づきながら仮説、検証を通して答えを導き出す課題解決型思考を養います。これにより、企業や組織のリーダーに求められる、企業経営の具体的な改善策や解決策の提案ができるようになります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・授業中、質問をしますから、学生は積極的に発言するようにお願いします。
- ・レズポンを使用する場合は、事前に講義連絡します。

実務経験の有無及び活用

- ・担当者青木については、実務経験あり。1979年から97年まで銀行に勤務し、産業調査や融資、ファンド運用を担当しました。調査や融資の観点から、企業経営を分析することができます。
- ・担当者瀧本については実務経験なし。

備考

- ・講義について不明な点は、担当教員に問い合わせてください。
- ・問い合わせについては、青木、瀧本とも講義で公開された電子メールで対応します。
- ・対面での対応を希望する場合は、瀧本が担当します。
- 以下のオフィスアワーを利用してください。